

株式会社日新化成

取出工程をロボットに。8→0時間の大幅短縮。

設計製作 など



■人手不足の現状・課題

従業員数減少と残業時間増加が重なり、生産ライン作業 に人員が集中する状況が継続。金型からの製品取出し作 業に人的リソースが集中してしまい、付加価値領域への リソース配分が困難な状態が課題となっていた。

■取組内容

金型取出工程にロボットシステムを導入し、24時間自動 運転稼働を実現。夜間稼働に向けた効率的な段取り設計 と生産スケジューリングを工夫し、従来8時間必要だった 取出作業を完全自動化。これにより人的介入を不要とし、 作業時間を「8時間→0時間」に短縮した。

■成果



導入前 導入後

- ·品質安定化
 - ロボットによる再現性向上で不良率低減
- ・リソース再配置 余力の時間を別業務へと振り替え
- ・コスト削減 人件費削減と生産能力向上



金型からの製品取出し作業を おこなう「取出ロボット」

■今後の展開

光通信部品「MTフェルール」の設計から 生産まで一貫体制で製造するなど、光通 信部品分野で20年以上の製造実績を有 している。作業工程の効率化を経て、グ ローバル展開している光通信部品の販路 開拓・売上拡大を今後も狙っていく。